

あきる野市教育フォーラムを開催

令和5年12月16日(土)あきる野市中央公民館で、「令和5年度あきる野市教育フォーラム」を開催しました。60名を超える方に参加いただき、会場は満席となりました。

講師として、「赤鼻のセンセイ」としてドラマ化されたことでも有名な、昭和大学大学院保健医療学研究科の副島賢和准教授をお招きして、約90分間の講演をいただきました。副島先生は以前、都内の小学校の教員として、昭和大学病院の院内学級(さいかち学級)を担当されていた。

「子どもの心に寄り添う」院内学級の子どもたちが教えてくれたこと」をテーマに、院内学級で行っていた取組や子どもたちの実際の様子を交えてお話いただきました。

子ども達が自分の感情を大切にすることや、大人が子ども一人の存在を認めていくことの尊さ、子ども自立に必要なことなどについて、参加者が考える機会となりました。

副島先生が自己紹介をしながら、「赤鼻」のスポンジを着けて、手品を絡めたバルーンアートを披露すると、会場は笑顔に包まれ、参加者は開始早々、赤鼻のセンセイの魅力にすっかり引き込まれた様子でした。



令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

この調査は、スポーツ庁が全国の児童・生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等の状況を把握・分析し、児童・生徒の体力向上を図ることを目的として実施しています。

【対 象】

小学校第5学年及び中学校第2学年

【調査期間】

令和5年4月から7月末まで

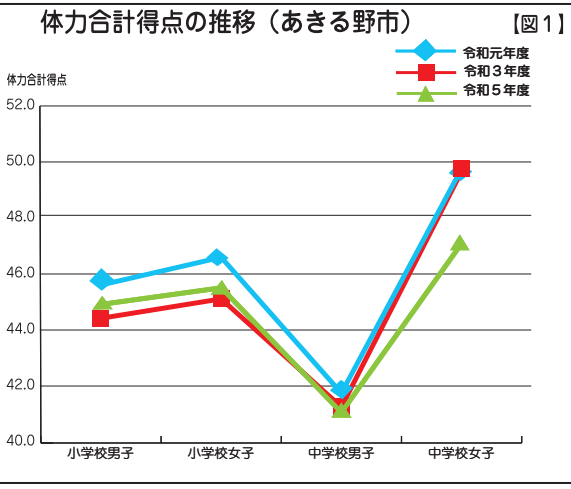
【実技テスト】

握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げの8項目

■本市の全体的な傾向(図1)

全実技における体力合計点は、全国と比較すると、あきる野市の小学生はやや低い傾向にあり、中学生はほぼ同水準でした。

東京都と比較すると小学校が男子45・0点(東京都比プラス



0・4ポイント)・女子45・6点(同プラス0・6ポイント)。中学校が男子41・1点(同マイナス0・1ポイント)・女子47・2点(同プラス0・1ポイント)という結果でした。

その他、体力合計得点は、新型コロナウイルス感染症等の様々な影響により、令和3年度は体力が低下傾向にありましたが、令和5年度は上昇傾向が見られます。このことは、各小・中学校が、体力向上に資する取組を進めてきた結果と考えられます。

「スポーツは大切だと理解している」と回答した小学生は77%、中学生では70%であり、児童・生徒の割合は70%を超えています。

■実技調査の結果(図2)

あきる野市と東京都を比較すると、実技成績は、小・中学校の男女ともに、東京都の得点をおおむね上回りました。

全体的に得点が高い理由として、各校において体力向上を図る取組(マラソンや縄とびなど)

実技調査の結果(あきる野市と東京都の比較) [図2]

青: 高い
赤: 低い

【小学校男子 各種目の得点】

	握 力	上体起こし	反復横跳び
あきる野市	13.02	16.17	34.91
東京都	13.45	16.40	35.39

【小学校女子 各種目の得点】

	握 力	上体起こし	反復横跳び
あきる野市	12.64	15.49	33.18
東京都	12.96	15.59	33.68

【中学校男子 各種目の得点】

	握 力	上体起こし	反復横跳び
あきる野市	28.55	25.79	51.70
東京都	28.63	25.69	51.63

【中学校女子 各種目の得点】

	握 力	上体起こし	反復横跳び
あきる野市	22.76	21.11	46.37
東京都	22.79	25.16	45.89

を積極的に実施したり、日常的な運動を取り入れたりした結果だと捉えています。

今後の課題としては、握力(物を握るときに発揮される力)、上体起こし(体幹筋屈曲群の筋力と筋持久力)及び反復横とび(俊

敏性)などを強化して、児童・生徒の基本的な運動能力の更なる向上を図っていくことが必要です。

■質問紙調査の結果

「スポーツは大切だと理解している」と回答した小学生は77%、中学生では70%であり、児童・生徒の割合は70%を超えています。

また、スポーツをほぼ毎日している割合は、部活動等の有無もあるため、小学生より中学生の方が約30ポイント高い結果でした。

「朝食はほぼ毎日食べている」

○自動音声対応時間

・平日:午後5時30分~午前8時

・土曜日、日曜日、祝日、学校閉庁日:終日

※長期休業期間などは、各学校のホームページ等でご確認ください。

○問合せ

教育総務課学務係

(直通)58・2412

と回答した小学生は90%、中学生は84%という結果であり、小学生より中学生が約6ポイント低い結果でした。

その他、「睡眠時間が十分とれている」と感じる割合は、小学生では58%、中学生では32%という結果で、多くの児童・生徒自身が睡眠時間が十分に取れていないと感じていることが明らかになりました。

小・中学校における電話機の自動音声対応を開始しました

あきる野市では、教職員一人一人の心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいを持つて職務に従事できる環境を整えるため、学校における働き方改革に取り組んでいます。

その取組の一つとして、学校の電話機に自動音声対応機能を導入しました。

■今後の取組

これらのことから、教育委員会としては、引き続き体育の授業改善や運動習慣の向上を図っていきます。

また、保健の授業や学級活動等において、バランスの取れた食事や適度な睡眠の大切さなどについて触れ、児童・生徒が自身の生活を見直し、改善を図れるよう取り組んでいきます。

開校150周年記念式典を挙行了しました



令和5年11月18日 東秋留小学校



令和5年12月2日 増戸小学校